

平成 21 年度事業報告書

自：平成 21 年（2009）年 4 月 1 日

至：平成 22 年（2010）年 3 月 31 日

1 演奏家の技能向上のための研修と成果の発表

(1) 「日演連推薦／新人演奏会」の実施（年間 6 回）

＝助成：文化庁芸術団体人材育成支援事業＝

地域の音楽振興と新人演奏家の発掘を目的とした演奏会で、全国 6 地区で各地区のプロ・オーケストラの協力を得て開催した。各地区の音楽大学、音楽団体、教育者等の推薦を受けた多数の応募者を厳正なオーディションにより選抜し、合格者にオーケストラとの協演の機会を与えるという、新人演奏家にとっては貴重な発表の場を提供した。

- ・ 第 150 回 名古屋地区 平成 22 年 2 月 5 日（金）愛知県芸術劇場コンサートホール
演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮：竹本泰蔵
出演：瀬木理央（Vn）、天野千尋（F1）、大田亮子（Ms）、西室伸也（Sax）、青山奈未（Sop）
共催：（財）名古屋フィルハーモニー交響楽団／中日新聞社
後援：ヤマハ株式会社
- ・ 第 151 回 福岡地区 平成 22 年 2 月 16 日（火）福岡銀行本店大ホール
演奏：九州交響楽団 指揮：黒岩英臣
出演：堤 由佳（F1）、弓削隆裕（Tub）、林 紋子（Pf）、西野繭子（Cl）、仁田原祐（Pf）
共催：（財）九州交響楽団
- ・ 第 152 回 広島地区 平成 22 年 3 月 3 日（水）アステールプラザ大ホール
演奏：広島交響楽団 指揮：小田野宏之
出演：松浦美音（F1）、平尾晴也（Tub）、石水晶子（Sop）、馬場尚子（Pf）
共催：（社）広島交響楽協会
後援：中国新聞社
- ・ 第 153 回 札幌地区 平成 22 年 3 月 3 日（水）札幌コンサートホール Kitara 大ホール
演奏：札幌交響楽団 指揮：高関 健
出演：浅井良子（F1）、滝本沙代（Va）、高橋美加（Ob）、池田茜（Pf）
共催：（公財）札幌交響楽団／北海道新聞社
協賛：（財）道銀文化財団
後援：北海道教育委員会／札幌市・札幌市教育委員会
- ・ 第 154 回 大阪地区 平成 22 年 3 月 16 日（火）ザ・シンフォニーホール
演奏：大阪センチュリー交響楽団 指揮：飯森範親
出演：木村裕美（Pf）、本濱寿明（Cl）、星由佳子（Ms）、野上佐紀子（Sax）
共催：（財）大阪府文化振興財団
後援：朝日放送（株）
- ・ 第 155 回 仙台地区 平成 22 年 3 月 26 日（金）仙台市青年文化センター・コンサートホール
演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団 指揮：山下一史
出演：櫻井希（F1）、高田仁美（Cl）、岡崎咲子（Pf）、金野由佳（Pf）
共催：（財）仙台フィルハーモニー管弦楽団

(2)「演連コンサート」の実施(年間・東京10回、大阪4回、札幌2回、名古屋2回、福岡1回 計19回)

＝助成：文化庁芸術団体人材育成支援事業＝

リサイタル開催を希望する新人演奏家を広く公募し、厳正なオーディションによって優秀な演奏家を選抜し、当連盟が公演に係る諸経費を負担してデビューの場を提供した。

今年度は昨年に引き続き東京、大阪、札幌、名古屋、福岡でオーディションを実施し、各地区でリサイタルを実施した。

・応募状況：東京地区	Pf15、Vn2、Vc1、F13、Cl6、声楽11	計38名
大阪地区	Pf5、Cl2、声楽5	計12名
札幌地区	Pf1、Cl1	計2名
名古屋地区	Pf2、Va1、Vc1、声楽3	計7名
福岡地区	Pf1、F11	計2名

・「演連コンサート」 東京文化会館小ホール

- #209 平成21年 4月25日(土) 菊池洋子フルート・リサイタル
- #210 平成21年 5月16日(土) 佐藤美和ピアノ・リサイタル
- #211 平成21年 6月7日(日) 堀内詩織チェロ・リサイタル
- #212 平成21年 7月19日(日) 久保田千裕ピアノ・リサイタル
- #213 平成21年 9月6日(日) 丹藤亜希子ソプラノ・リサイタル
- #214 平成21年10月12日(月・祝) 澤江衣里ソプラノ・リサイタル
- #215 平成21年11月23日(月・祝) 斎藤 龍ピアノ・リサイタル
- #216 平成21年12月19日(土) 豊永美恵クラリネット・リサイタル
- #217 平成22年 1月24日(日) 城代さや香ヴァイオリン・リサイタル
- #218 平成22年 3月7日(日) 諸田広美メゾソプラノ・リサイタル

・「演連コンサートOSAKA」 大阪いずみホール 協賛・いずみホール

- #53 平成21年 5月29日(金) 櫛原 藍ピアノ・リサイタル
- #54 平成21年 6月25日(木) 老田裕子ソプラノ・リサイタル

(大阪文化祭賞奨励賞)

- #55 平成21年10月9日(金) 上野洋子ソプラノ・リサイタル
- #56 平成21年11月19日(木) 坪内久美子ピアノ・リサイタル

・「演連コンサートSAPPORO」 札幌コンサートホール Kitara 小ホール

- #9 平成22年 1月29日(金) 二田浩衣クラリネット・リサイタル
- #10 平成22年 3月13日(土) 霜山茉莉ピアノ・リサイタル

・「演連コンサートNAGOYA」 名古屋ザ・コンサートホール(電気文化会館)

- #9 平成22年 2月4日(木) 酒井 直チェロ・リサイタル
- #10 平成22年 2月18日(木) 石橋直子ヴィオラ・リサイタル

・「演連コンサートFUKUOKA」 福岡あいでふホール

- #5 平成22年 3月9日(火) 森山仁美フルート・リサイタル

(3)「山田康子奨励・助成コンサート」(4公演助成)

ピアニストの故山田康子さんから提供を受けた資金をもとに、会員が主催する意欲的かつ創造的な演奏会に対して経済的な援助を行なう事業で、助成枠を年間6公演以内とし、常任理事会で審査して決定している。今年度は4公演を採択、助成した。

(総申請件数 14件)

- ・平成21年 4月10日(金) 野田篁一と仲間たち/大阪倶楽部4Fホール
- ・平成21年10月4日(日) 大前知誇チェロリサイタル/日経ホール

- ・平成21年11月26日（木）林田誠ピアノリサイタル/iichiko音の泉ホール
- ・平成21年12月14日（月）笠井キミ子ソプラノリサイタル/福岡銀行本店大ホール

(4) 日本演奏連盟の後援名義使用承認状況

会員が主催するリサイタル及び室内楽、または各種演奏団体が主催する催事について<後援名義使用申請>を受けて常任理事会で協議し、後援名義使用を承認した。

- ・年間申請件数 146件　うち承認件数 145件

(5) 「コンサート・アシスト」事業の実施

演連コンサートなどで蓄積したノウハウをいかし、演奏家の自主リサイタルの開催を有料でサポートする事業を19年度より開始した。今年度は3公演のマネジメントとなった。

- ・平成21年 4月12日（日）城 寿昭ピアノリサイタル/サントリーホール
ブルーローズ（小ホール）
- ・平成21年11月30日（月）倉澤 華ピアノリサイタル/東京文化会館小ホール
- ・平成21年12月11日（金）三宅達也ヴィオラ・リサイタル/sonorium

2 音楽に関する指導及び啓蒙

(1) 「畑中良輔 日本歌曲公開マスタークラス」

＝助成：文化庁芸術団体人材育成支援事業＝

国内外のトップクラスの演奏家を講師に招き、明日の音楽界を担う若い人材を育成することを目的に実施しているもの。今年度は、長年にわたり我が国音楽界を牽引してこられた声楽家で東京芸術大学名誉教授の畑中良輔氏を講師に、日本歌曲の公開マスタークラスを東京、仙台、札幌、長崎、岡山で計5回開催した。

- ・平成21年9月11日（金）東京/台東区立旧東京音楽学校奏楽堂
- ・平成21年9月16日（水）仙台/イズミティ21小ホール
- ・平成21年9月17日（木）札幌/札幌市教育文化会館小ホール
- ・平成21年9月19日（土）長崎/活水女子大学新戸町音楽ホール
- ・平成21年9月22日（火・休）岡山/ルネスホール

3 音楽普及のための活動

(1) 「2010都民芸術フェスティバル」の実施

＝助成：東京都＝

都民芸術フェスティバルは、東京都が助成する恒例の祭事で、新春を彩る行事として今回で42回を迎えた。21年度は広範な芸術ジャンルの中から11部門、77公演が実施されたが、当連盟はこのうちのクラシック音楽部門を開催した。

①オペラ（3団体 8公演）

- ・プーランク作曲「カルメル会修道女の対話」(財)日本オペラ振興会・<直接事業>
藤原歌劇団公演 平成22年2月6日（土）、7日（日）
東京文化会館大ホール
- ・ヴェルディ作曲「オテロ」(財)東京二期会・<直接事業>
東京二期会オペラ劇場公演 平成22年2月17日（水）、18日（木）、
20日（土）、21日（日）
東京文化会館大ホール

- ・モーツァルト作曲「偽りの女庭師」東京室内歌劇場・＜直接事業＞
東京室内歌劇場公演 平成22年2月18日（木）、19日（金）
紀尾井ホール

②オーケストラ（8団体 8公演） 東京芸術劇場大ホール

- ・平成22年1月16日（土）演奏：東京都交響楽団
指揮：船橋洋介 ソプラノ：半田美和子 テノール：望月哲也
- ・平成22年1月27日（水）演奏：東京交響楽団
指揮：飯森範親 ピアノ：末永 匡
- ・平成22年2月 3日（水）演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
指揮：矢崎彦太郎 ヴァイオリン：漆原朝子
- ・平成22年2月21日（日）演奏：東京フィルハーモニー交響楽団
指揮：小林研一郎 トランペット：マティアス・ヘフス
- ・平成22年2月25日（木）演奏：NHK交響楽団
指揮：ロッセン・ミラノフ ピアノ：岡田晴美
- ・平成22年3月 5日（金）演奏：読売日本交響楽団
指揮：現田茂夫 ピアノ：小山実稚恵
- ・平成22年3月17日（水）演奏：日本フィルハーモニー交響楽団
指揮：大友直人 チェロ：向山佳絵子
- ・平成22年3月21日（日）演奏：新日本フィルハーモニー交響楽団
指揮：手塚幸紀 ピアノ：田村 響

③室内楽（2団体 2公演） 東京文化会館小ホール

- ・平成22年1月21日（木）田部京子「室内楽の夕べ」
ピアノ：田部京子 ヴァイオリン：矢部達哉・島田真千子
ヴィオラ：井野邊大輔 チェロ：山本裕康
- ・平成22年3月 3日（水）クアルテット・エクセルシオ「弦楽四重奏の夕べ」
ヴァイオリン：西野ゆか・山田百子 ヴィオラ：吉田有紀子 チェロ：大友 肇

(2)「日本演奏連盟第21回クラシックフェスティバル」の実施

- ＝助成：社団法人私的録音補償金管理協会（sarah）＝
- ＝助成：財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団＝
- ＝助成：財団法人ロームミュージックファンデーション＝
- ＝協賛：ヤマハ株式会社

会員の協力を得て開催する恒例の演奏会。21年度はイタリアで現代のピアノに通じるピアノが誕生して300年になるのを記念して、チェンバロ、ピアノ・ソロ、連弾、デュオ、そして5台ピアノと、ピアノのフェスティバルを開催した。豪華メンバーによる華麗な演奏は、多くの聴衆を魅了した。

- ・平成21年5月8日（金）東京文化会館大ホール
＜ピアノ誕生300年記念＞

チェンバロ：曾根麻矢子

ピアノ：青柳 晋、若林 颯、田部京子、迫 昭嘉、伊藤 恵、清水和音、
ピアノデュオドゥオール藤井隆史&白水芳枝、菊地裕介、松本 愛

4 国際交流に係わる芸術活動の提携

(1) 文化庁新進芸術家海外研修員の推薦<平成22年度派遣対象>

文化庁の依頼により、音楽部門の推薦団体の一員として応募の取りまとめを行なった。当連盟の推薦者数、内定者数は次のとおり。

(1年派遣の下段は18歳未満対象で募集人員は音楽と舞踊の合計)

派遣期間	募集人員(音楽)	日演連推薦者数	3月末日演連推薦・内定者
1年派遣(200~350日)	30名	27名	13名
1年派遣(350日)	10名	—	—
2年派遣(700日)	5名	8名	2名
3年派遣(1,050日)	1名	1名	1名
特別派遣(80日)	10名	9名	2名
計	56名	45名	18名

5 演奏家の利益擁護及び福祉厚生

(1) 芸術文化予算の拡大と芸術文化振興のための活動

芸術家会議、日本芸能実演家団体協議会(芸団協)、東京都芸術文化団体協議会等と協力し、国や地方自治体の文化予算の拡大や、各種の法的基盤の整備について活動した。

平成21年9月に政権が交代し、11月には政府の行政刷新会議による事業仕分けが行われ、「文化芸術の創造と人材育成」に関する予算の大幅な縮減というWG評決結果がだされた。芸術家会議をはじめ多くの文化芸術団体がこれに反対する意見を表明し、年末まで従来にもまして活発な陳情活動を行った。文部科学省では、事業仕分けの対象となった事業について、広く国民からの意見を募集することになり、最終的に約15万3千件を超えるメールが同省に寄せられた。そのうち文化関係事業についての意見は11万件を超え、ほぼすべてが事業仕分けの結果に反対するものであった。一連のこうした運動により、平成22年度の文化庁予算は、前年度予算から4億8千万円増の1,020億円となり、伸率0.5%を確保した。一般会計歳出では社会保障関係費の伸率が9.8%増に対し、公共事業関係費は18.3%の減額となった。行政刷新会議事業仕分けにより、大幅な予算縮減の方針が示された中で、文化庁の伸率0.5%増は芸術家会議をはじめとする広範な文化芸術団体の活動の成果であるといえる。しかし国内の経済状況は依然厳しく、国への政策提言や国会議員への陳情活動等を行っている芸術家会議の活動を、今後もより一層活発化させなければならない。

(2) 著作隣接権の権利擁護と個人分配に協力

演奏家権利処理合同機構 Music People's Nest (MPN) を構成、運営する団体の一つとして、演奏家の著作隣接権報酬が適正に分配されるよう、広報活動、委任契約促進活動などを積極的に行なった。

また、MPNに設置したMPNクラシック委員会(日本オペラ連盟、日本音楽家ユニオン、日本オーケストラ連盟、日本演奏連盟)の中心となってクラシック部門の報酬分配のための作業を積極的に推し進め、1994年度~2004年度留保金追加分及び2005年度のクラシック部門の個人分配作業を行なった。

1994年度~2004年度留保金追加分…1,630件 2005年度…631件

(3) 福祉厚生に関する互助業務

互助規程に則り、互助給付を行なった。

・互助給付の最近の実績

(単位：千円)

給付内容	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
入院給付	1,995 (24 件)	1,870 (25 件)	1,315 (15 件)	2,850 (34 件)
死亡給付	760 (10 件)	650 (8 件)	480 (5 件)	890 (10 件)
健診補助給付	295 (99 件)	212 (72 件)	231 (81 件)	193 (66 件)
永年祝金給付	1,236 (23 件)	1,950 (36 件)	788 (17 件)	1,044 (20 件)
合計	4,286 (156 件)	4,682 (141 件)	2,814 (118 件)	4,977 (130 件)

(4) 芸能に従事する人の国民健康保険等の事務取り扱い

東京芸能人国民健康保険組合が管理する芸能人国民健康保険への加入の事務取扱いを行なった。

平成 21 年 3 月末現在の加入状況は、次のとおり。() 内は前年実績

・ 芸能人国民健康保険加入者 74 人 (74 人)

また、当連盟と提携している東京海上日動火災保険株式会社との所得補償保険、傷害保険の事務手続きを行なった。

芸団協が管理している芸能人年金は平成 18 年施行の改正保険業法の規制対象となることが明らかになり、平成 21 年 6 月の芸団協総会において廃止することが決定した。芸団協では年金制度加入者・受給者に対し掛け金返金の手続きを執り行った。

(5) 会員のための税務相談

顧問税理士による会員のための税務相談を確定申告時期に実施し、申告書作成に協力した。

6 出版事業と情報の収集・発信

(1) 機関紙・月刊「えんれん」の発行と情報誌「ぶらあぼ」の配布

B 5 判 8 頁建 3,860 部 会員及び関係団体等に無料配布。

(2) 「演奏年鑑 2010 音楽資料 (通巻第 36 号)」の刊行

＝助成：文化庁芸術団体人材育成支援事業＝

B 5 判 580 頁 1,700 部 関係機関及び資料提供団体等に配布。

(3) 「日本演奏連盟会員名簿」(年 1 回)の発行

B 5 判 130 頁 4,200 部 9 月に全会員に配布。

(4) 世界の国際音楽コンクール開催要項の収集と情報提供

(5) ホームページによる情報発信

ホームページを活用し、演連ニュース、事業・催事案内、入会案内、著作隣接権に関する情報等、会員との情報交換を行なった。